

## 年頭所感

昭和ゴム株式会社 代表取締役社長 渡邊 正

お取引先の皆様、関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

2013年は、一昨年末に親会社の昭和ホールディングスが開設いたしました中国青島駐在員事務所と昨年設立しましたタイ王国の当社子会社と連携して、原材料の調達及び生産移管など、海外展開を進めました。

また、50年以上の長きに亘り、当社の代理店として活動していただいております常盤ゴム(株)と業務提携契約を締結いたしました。この度の業務提携は、両社の社業でありますゴム事業の発展、拡大を目指すものであります。今後は、当社の東日本の営業部門を支えてきました山口取締役が常盤ゴム(株)の経営にも参画し、両社のゴム事業の再興に尽力してまいります。

これと同時に、2012年6月発表の中期経営計画「アクセルプラン2012」の実現に向け、医療分野の大型引合いへの積極的取り組み、マレーシアにある当社の兄弟会社でありますSRM(SHOWA RUBBER MALAYSIA)と連携して、アセアン地域での協力工場の探索、ライニング材質の開発を進めました。また、国内においてもライニング材質の開発、加工技術者のさらなる増員・育成を図りました。

ただ、2013年はアベノミクス効果により、業績を改善した企業もありましたが、国内設備投資に大きく依存している当社のメイン事業であります工業用品部門は非常に苦戦いたしました。

2014年は当社のミッションである「顧客の大切を守る社会の守護者」、お客様に「安心、安全、スピード」を提供することをさらに進化させ、「お客様に経済的メリットを提供する」を合言葉に、さらなる企業改革を進めてまいります。

2014年は、2013年に引き続き、新たな改革を次々に行う挑戦の年になります。皆様にも、我々自身にも予想のつかないほどの成長をお見せして、本年を走り抜けます。なにとぞ、皆様、ご期待くださいますようお願い申し上げます。

2014年1月14日